

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	やりたいことが見つかる！自分・仕事発見ガイド		
法人名	社団法人大阪府専修学校各種学校連合会		
学校名 ((2) のみ)			
代表者	会長 福田 益和	担当者 連絡先	西脇 康則 TEL 06-6352-0048
<p>1. 事業の概要</p> <p>当連合会と高等学校の先生方が連携して、高校生の職業観・勤労観を育成し、志望する職業に就くための適切な進路選択、決定が可能となるよう、各専修学校(30校)で「職業に必要な知識、技能、資格等の事例紹介」、「体験授業や実践的な職業体験」といった講座等を高等学校の夏休み期間に40講座を開講した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>事業計画では20校600人程度の参加を見込んでいたが、採択の遅れでチラシ、プログラム等の関係書類の各学校への到着が7月9日頃となり、参加を予定していた高等学校の多くが参加できなくなった。連携できた高等学校は85校と予定を上回ったが、受講者は実人員224人、延人員390人と予定より大きく下回ったのは残念であるが、体験講習終了後のアンケート調査から見ると事業目的(高校生の職業観・勤労観の育成、職業に就くための適切な進路選択等)を達成できたと思慮する。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>高校生の早い段階において、仕事(職業)には、どのようなものがあるか、その仕事をするためには、どのような技術が必要か、その仕事をするための適性はなにか、その技術を身につけるためには、進路をどのように決めるか、等々将来の仕事について考えてもらう多種多様な体験講座を開講した。特に、座学より実体験に重点をおいた講座を多く開講したことにより、受講者がさらに興味を持つことができたものと思われる。</p> <p>③今後の活用</p> <p>今回の職業教育事業の各プログラムは受講生から一定の評価を得ているが、連合会では、参加した各専修学校が、この貴重な経験を基に今後の授業や体験入学に有効活用されるよう期待している。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>高校生への早期周知を図る必要がある。さらに、連合会から参加する各専修学校に対し、プログラムメニューを増やすなど対象者のニーズに沿った内容の提供、及び高等学校の要請に基づき学校に出向く出前講座を多く取り入れることを提案したいと考えている。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

◇各専修学校の講座内容については、単なる専修学校の広報を目的としたイベント、オープンキャンパス及び高校の教育課程講座並びに各専修学校が従前から行ってきた入学希望者向け学校案内と違う計画を立案し、30校が高等学校の夏休み期間中に40講座を開講した。

◇事業テーマは「おおさかの専修学校と高等学校等が連携した職業教育事業～やりたいことが見つかる！自分・仕事発見講座」とし、大阪府内の公立・私立の高等学校327校に事業周知を行った。

◇参加した高等学校は85校で、受講者は実人員224人、延人員390人であった。

◇専修学校は30校(40講)を開講したが、その内受講者を受け入れたのは15校で50%であった。

◇専修学校の中では、マロニエファッションデザイン専門学校では、福知山淑徳高等学校に出向き出前講座を3日間行った結果、81人が参加し大きな成果が見られた。また、高津理容美容専門学校では、6日間の講座を開講したが、学校への訪問等による事業の周知を行った結果、39校80人の参加があった。

◇アンケート調査から見ると、

① 「体験講習に参加して良かったと思うことはなんですか」に対して、

- ・自分の職業の適性がわかった (151人のうち53人で34.9%)
- ・将来進みたい分野(職業)がわかった (53人で34.9%)

と答えたのが約7割となり、事業目的(高校生の職業観・勤労観の育成、職業に就くための適切な進路選択等)を達成できたのではないかと考える。

② また、1・2年生に「来年度このような事業が開催されれば、参加したいと思いますか」に対して

- ・思う・参加したい (89人うち76人)
- ・やってほしい (1人)

と答えたのが8割を超えていることから、今回の職業体験は有意義であり、一定の事業成果があったものと思慮する。

専修学校では、参加者がより身近に感じる内容で、理解しやすい指導に努めたようである。また、実習においては、実際に授業で使用している用具を使用したため、リアルな体験ができたと好評であった。